

岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会
岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会(令和6年度第1回) 記録

日 時：令和6年7月17日(木)13:00~16:00

場 所：総社南高等学校 図書館

参加者：9名（オンライン参加2名 欠席0名）

1 開会

2 報告・協議

(1) 今年度の研修について

●第3回合同司書部会について

- ・合同研修は講師が決定した。日程、内容などについては7月中に決定する予定。
- ・初任研はアンケートをもとに準備をしている。
※外部講師の依頼は可能か。（今年度の場合）
→合同研修で講師を依頼するため、初任研でも別の外部講師に依頼をする（一度の研修で2人の講師を呼ぶ）のは難しいのではないか。
→第1回初任研で実務の手引きに沿った研修をひと通り行っているのなら、参加者の困りごとの相談に答えるような内容でも良いのでは（講師を呼ぶような内容にしない）。
- ・開催場所は、合同研修の講師と相談の上、決定する予定。第1回司書部会で、訪れたい学校図書館のアンケートを取っているので、それをもとに決める。
- ・全体のタイムスケジュールを修正。午前中に備前支部の研修が行われる予定。このほか時間配分を見直した修正案で実施する。

※第3回合同司書部会初任研について：研修企画班と備前支部幹事が話し合い、初任者及び担当者が支部研修に参加できないという問題を解決すべく、以下の通り計画を変更することになった。

初任研はどの支部からも参加しやすいよう、従来通りの初任研として研修会を行う。

テーマは「人を図書館に呼び込む工夫について」。

前半は備前支部の行う「図書館や本を広くアピールするための取り組み」についての事例報告を見学し、後半は初任者の「人を図書館に呼び込む工夫について」の困りごと相談会を行う。相談員を備前支部の司書たちが行う。（8/19 加筆修正）

(2) 初任者研修・合同研修について

●来年度以降の初任者研修の在り方

- ・今年度第3回のように午前に初任研を行うと、午前に支部研修が行われる場合、初任者及び担当者が支部研修に参加できないという問題がある。
- ・合同研修と同時間帯に行うと、合同研修にも参加したいと考える初任者が参加できない。
- ・第3回の時点では、すでに半年以上図書館運営を行っているため、改めて初任研を行わなくてもよいのではないか。
 - 初任研は3回かけてじっくりやりたいという意見が出たという経緯があった。1回でおさまらないのなら2回、3回やればよいが、無理に毎回新しい内容を練り直す必要はないのでは。
- ・過去に、合同研修一本にすると人数が多すぎて研修内容を組みにくいという意見や、レベルの設定が難しいという意見が出たことなどから、経年研と初任研を分けることになった。
 - 一本化するのであれば、事前に全体への確認・周知が必要ではないか。

以上を踏まえ、今年度第3回合同司書部会において、以下の来年度の研修計画について提案をする。

第1回：午前初任研（合同研修なし）

第2回：午前初任研・午後合同研修

第3回：午後合同研修（初任研なし）

●県立図書館との共同主催とするのには、どのような要件があるのか

→原則として共同主催となる場合には、司書部会側と連携を取りながら、県立図書館が企画内容にも主体的に関わることが必要。第1回については、県立図書館の業務説明も兼ねたような形となっている。今年度第2回については、初任研の講師として研修内容も事前に話し合いながら準備をしており、共同主催とすることになった。

共同主催：会場費・駐車場代が免除される。

共 催：会場費は半額免除される。申請の書類が必要。

→なお、県立図書館の講師派遣制度は公共図書館の館内研修および市町村教委による学校図書館への研修が主な対象であるが、その他の講師派遣についても状況に応じて対応しているので、相談してもらえれば。

- ・次年度、第1回は県立図書館で開催する予定（共同主催）。第2回以降については未定。

(3) で一れ一BOOKS について

- ・現在21冊のエントリーがある。8月末締め切りの予定。
- ・エントリー方法について、ブックログに直接投稿するという案があったが、チェックなしで載ることになるなどの理由から、直接投稿は行わない。

(4)学校図書館システム・横断検索システムについて

●Libmax・Libfinder について

- ・第1回合同司書部会で Libfinder 研修を行った。
- ・令和5年度より、県立高校横断検索に市立・私立もデータ検索館として参加可能となり、希望があった数校に ID・PW を連絡した。また、この過程で参加館であることを知らず ID・PW の問い合わせのあった県立高校が数校あり、引き継ぎがうまく行われていないことが懸念される。
- ・市立・私立高校で同システム導入校の横断検索の参加について、高校教育課は、学校側で相談しての運用でよいとのこと（ただし費用が発生しない場合に限る）。参加可否についてソフテックの回答は、初期費用・月額利用料を追加で支払えば参加可能（Libfinder クラウドの導入が前提）とのこと。この場合、追加料金は参加する学校（市立・私立）が負担することになる。
※県立以外の Libmax 導入校：商大附・就実・学芸館・清心・金光（基本情報アンケートより）
- ・県立図書館が提供する横断検索は今後どうなるのか。
→次年度にシステム更新を行う予定。現時点では未定。

●Libfinder の 24 時間化について

- ・令和4年度に要望を出していたが、変更とはならなかった。その後も、24時間化を要望するための決定的な要因をあげられていないため、今年度は要望していない。

●岡山県司書部会 HP について

- ・5月半ばに、プラグインの関係で HP が更新・閲覧不可となった（現在は復帰）。現在のシステム担当班2名でトラブル時の作業が行えるかどうか不安がある。
- ・サーバーの更新手続きについて、年度が変わった直後に会計支払い手続きが行われないとすべてが停止するため、年度が変わる前の会計支払い手続きを事務局にお願いしている。（本来は3月末が支払い期限。今年度4月に支払い遅延のため HP が使用不可になった。）

(5)学校図書館活用教育研究委員会より

- ・7名（うち司書2名）で活動している。
- ・今年度の活動計画は以下の通り。

①HP での見直し（探究学習応援サイト）、②HP の周知徹底、③図書館を使った授業実践集の作成

これにともなって、司書部会には、探究応援サイトの分かりにくい点・もっと良くなりそうところを教えてほしい。またレファレンス事例も例年通り募集している。

→レファレンス協同データベースに事例をあげることにについて、以前にも同様の提案はあったが、公開に値するレベルの回答になるかどうかとの懸念から保留になっていた。活用研がレファレンス協同データベースに載せる事例を選定するという体制にしてはどうか。

- ・次回会議は10月の予定。

(6)岡山県立図書館より

●学校支援システムの変更について

- ・新システムの説明会を次年度後半に行う予定。
→12月や翌年度4月の合同司書部会で実施してはどうか。
→実際のシステム変更は2・3月に実施予定。説明会の実施時期については、システム変更の進捗状況や学校側のスケジュール等を踏まえて検討。

●第2回司書部会についての報告

- ・初任者研修
参加者17名（うち半数は4月の初任研も受講している）。内容は、実例紹介や展示の理論について説明、児童図書研究室の見学、展示を考えるワークなどを行った。
- ・県立図書館との意見交換会
参加者9名。搬送便の改善の要望、高校生が県立図書館を会場に読み聞かせ活動を行う場合について質問などを受けた。
書面による意見募集も年度内に実施予定。

●図書委員会交流会×県立図書館

- ・令和6年7月30日（火）県立図書館にて実施予定。
現時点で申込9校。20人程度参加予定。
※美作地区図書委員会交流会にも県立図書館の職員が参加予定。

●学校セットについて

- ・学校セット選書担当を学校側から出してほしい。
→以前は司書部会の中に担当があった（県立図書館の開架書架やTRC新刊案内などで選定）。
テーマを決める担当と、そのテーマに合わせて選書をする担当などに分けるとよい。
- ・意見募集のフォーム（電子申請）について、より手軽に回答できるようにしてほしい。年に何回か（学期ごと等）MLで呼びかけてもよい。

(7)その他

●文学フェスティバルについて

- ・参加の依頼がきているが、今年度はどうするか。
※昨年度は文芸小学校で2日間出展したが、土日開催であり、公務参加が難しい。また学校図書館を一般にPRするメリットも多くはない。
※参加する場合、高教研事務局から派遣文書は出ないので、担当する人の学校から派遣文書を出してもらうことになる（市の文化振興課から出るかもしれないが、組織が違うので難

しいか)。また、ミーティングへの参加が必要になるが、すべて出る必要はない。昨年度は、12月（チラシ等に掲載する文言について）、2月（搬入搬出の打ち合わせ）の2回出席。
→掲示だけ、もしくは文芸小学校ではなく別の場所でフェスの期間中に展示をしてはどうか。
→県立図書館の展示内容がティーンズ展示や探究学習など高校関連のものになれば、協力することは可能。

・担当は誰になるのか。

※昨年、読書推進班が担当したのは、内容がでーれーBOOKSの展示であったため。
→ネット研、もしくは岡山市のイベントだから備前支部が考えられるが現実的ではない。
→参加したい学校があるかMLで募集し、希望校を担当者につなぐことは可能。

3 連絡

4 閉会